



重点「道の駅」選定証伝達式開催 ～道の駅『奄美大島住用』 鹿児島県初～

国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所では、平成31年1月30日に鹿児島県初の重点「道の駅」に選定された道の駅『奄美大島住用』の選定証伝達式を以下のとおり開催しますのでお知らせします。

日 時：平成31年3月28日（木）11:00～11:10

会 場：鹿児島県庁 14階 14-土-1会議室
（鹿児島県鴨池新町10番1号）

伝達式：受賞者 奄美市市長
伝達者 九州地方整備局 鹿児島国道事務所長

※報道関係者の方は選定証伝達式に参加可能です。

【参考資料】

平成31年1月30日記者発表資料

お問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所



技術副所長

ごたんだ のぶゆき
五反田 信幸

交通対策課長

たかの ひであき
高野 英昭

鹿児島市浜町2番5 TEL:099-216-3111（代表）

099-216-3857（交通対策課直通）

ホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/kakoku/>

道の駅「奄美大島住用」重点「道の駅」選定証伝達式

日 時:平成 31 年 3 月 28 日(木)11:00～11:10

場 所:鹿児島県庁 14階 14-土-1 会議室
(鹿児島県鴨池新町10番1号)

次 第

1. 開 会
2. 重点「道の駅」趣旨説明
3. 選定証伝達
4. 記念撮影
5. 伝達者(鹿児島国道事務所長)挨拶
6. 受賞者(奄美市長)挨拶
7. 閉 会

平成 31 年 1 月 30 日
九州地方整備局九州の「道の駅」3箇所 新たに**重点「道の駅」**に選定！！

～ 地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します ～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取組を実施しています。

九州地方整備局管内では新たに重点「道の駅」として**3箇所**、重点「道の駅」候補として**1箇所**を選定しましたのでお知らせします。

○重点「道の駅」《国土交通大臣選定》

今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援。

●熊本県 ^{なごみ} 和水町 道の駅「きくすい」●大分県 ^{ゆふ} 由布市 道の駅「ゆふいん」●鹿児島県 ^{あまみ} 奄美市 道の駅「奄美大島 ^{すみよう} 住用」**○重点「道の駅」候補《九州地方整備局長選定》**

自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、主にソフト面から支援。

●長崎県 ^{ひらど} 平戸市 道の駅「^{いきつき} 生月 大橋」

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路情報管理官
交通対策課長^{おぐしとしゆき}
小串俊幸
^{ながとししんたろう}
永利信太郎

電話番号：092－471－6331（代表）

九州地方整備局管内「道の駅」位置図



平成30年度 重点「道の駅」・重点「道の駅」候補

○重点「道の駅」選定駅（3箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
1	熊本県	和水町	きくすい	○広域からの玄関口として、周辺観光地と連携して観光情報発信や観光ツアー斡旋等の広域的な観光振興を先導 ○自然の中でのアウトドアスポーツや“いだてん”に因んだマラソン大会開催等家族やグループでスポーツを楽しむ ○子育て世代や高齢者が入浴施設でのリフレッシュ等を通じて集い、交流し地域が支えコミュニティを形成する
2	大分県	由布市	ゆふいん	○道の駅・道守大分会議・日本風景街道が連携した「三つの輪」と協働し、交流機会の向上を図る ○子育て支援として、一時預かり機能や授乳室等の整備を図る ○外国人観光客に配慮し、JNTO案内所としての質的向上を図る
3	鹿児島県	奄美市	奄美大島住用	○「奄美大島唯一の道の駅」、奄美大島の観光情報・道路情報等の広域的な情報・更なるサービス向上 ○奄美大島の「国立公園化・世界自然遺産登録」を目指し、増加する外国人観光客対応への機能拡充

○重点「道の駅」候補 選定駅（1箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
1	長崎県	平戸市	生月大橋	○世界遺産、風景街道・道守と連携し、自然景観を活かした交流拠点施設として整備する ○漁業振興を目指し地場産品の販売強化と新規商品を開発する ○顧客ニーズを捉えたフードコートを設置する

道の駅「きくすい」(熊本県和水町) 企画概要 <既設>

H30重点

キタクマ※の一体的な観光振興と地域の定住魅力を高める拠点として

- 広域からの玄関口として、周辺観光地と連携して観光情報発信や観光ツアー幹旋等の広域的な観光振興を先導
- 自然の中でのアウトドアスポーツや“いだてん”に因んだマラソン大会開催等家族やグループでスポーツを楽しむ
- 子育て世代や高齢者が入浴施設でのリフレッシュ等を通じて集い、交流し地域が支えコミュニティを形成する

※キタクマは熊本県北の 和水町、玉名市、山鹿市、菊池市からなるエリアの略称

次世代観光拠点

熊本県北のゲートウェイとしてインバウンド対応型の観光情報案内、野外スポーツ体験、スポーツ大会

道守との連携

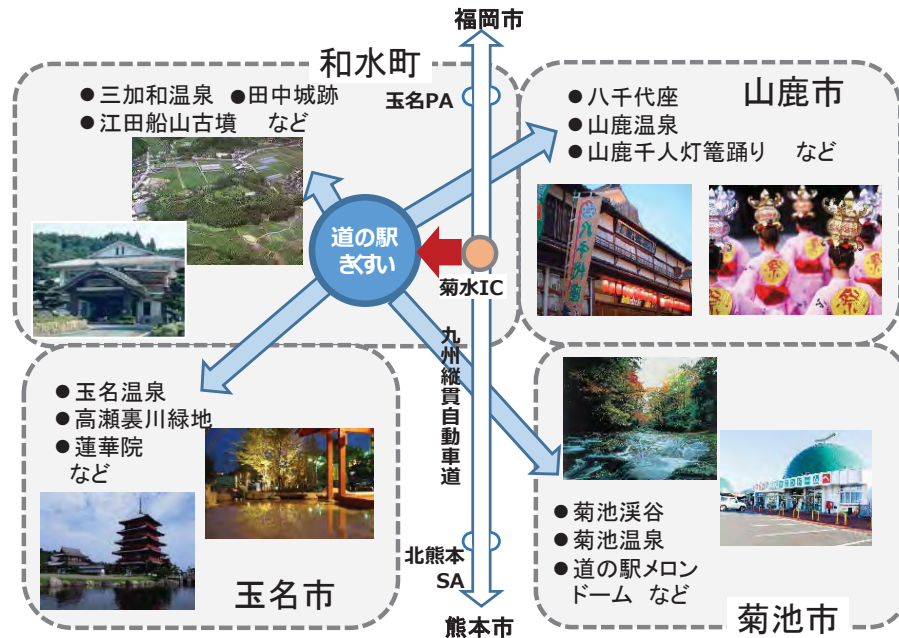
風景街道、道守等と連携し、施設や沿道の美化活動を後方支援

高速道路との連携

IC近傍を活かしたSA・PAでの入浴休憩案内サービス、防災機能の強化

子育て応援

子育て世代への休憩機能や集落からの接続サービス性の向上



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
きくすい	熊本県	和水町	主要地方道 玉名山鹿線	既設	平成7年	一体型



Copyright ©NTT空間情報All Rights Reserved



キャンプカーお泊り体験



カヌー体験



金栗四三生家



サップ体験

<提案の先駆性・ポイント>

- 外国人にも対応可能な観光案内、北熊本の観光情報提供や観光ツアーの幹旋等によりインバンド観光も見据えた宿泊型広域周遊観光を促進
- 自然の中でアウトドアスポーツ、キャンプ、スポーツ大会等のスポーツを楽しむ、リフレッシュし健康増進を図る
- 菊水ICからの近接性を活かし、高速道利用者が入浴し、ゆったりと休憩できる休憩案内サービス、防災機能の強化
- 子育て世代にやさしく、いつでも立ち寄りやすい地域コミュニティ拠点の形成

<実施内容>

- 「菊池川流域日本遺産」を生かした多言語音声ガイドシステム、外国人対応可能な案内スタッフ配置、情報・交流施設(総合窓口案内所)の改修
- 災害時に機能するRV駐車場の拡大、キャンプカー・古民家(空き家)を活用した宿泊体験、カヌー・サップ等のスポーツ体験の提供
- 九州自動車道玉名PA、北熊本SAへの入浴休憩サービス情報案内、防災情報の発信や防災広場としての活用
- おでかけ交通あいのりくんの利用促進に向けた待合所の整備、施設回りや周辺農地への大規模花植え、子育て世代向け各種イベント等の開催

道の駅「ゆふいん」

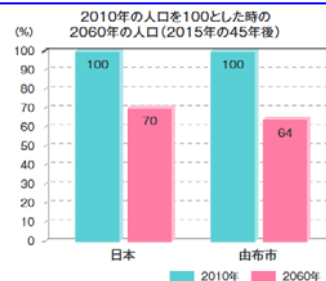
大分県由布市

- 道の駅・道守大分会議・日本風景街道が連携した「三つの輪」と協働し、交流機会の向上を図る。
- 子育て支援として、一時預かり機能や授乳室等の整備を図る。
- 外国人観光客に配慮し、JNTO案内所としての質的向上を図る。



道の駅「ゆふいん」

【人口減少が進む由布市】
50年後、人口が4割減、全国値を下回る



新しい人の流れ・交流促進



交流

「三つの輪」との連携

子育て支援

子育て支援環境の充実

観光

情報発信機能の強化

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ゆふいん	大分県	由布市	一般国道210号 県道別府湯布院線	既設	平成15年度	一体型

子育て支援に資する「道の駅」



観光情報の質的向上を図る「道の駅」



<提案の先駆性・ポイント>

- 「道守大分会議」「風景街道」「道の駅」で形成される「三つの輪」と協働し、駅内の花壇造成等、多様な主体や世代の交流向上に努める
- 子育て支援環境充実のため、施設整備等を推進する
- 交通結節機能を有する道の駅として、多様なトリップの利用者に資する道路情報や休憩者のための地元観光情報の提供
- 増加する外国人来訪者への対応として、JNTOカテゴリー2を目指す。また留学生を活用し、SNS等を用いて積極的な外部発信を行う。さらに、風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ」沿線の観光地への情報発信強化を行う

<実施内容>

- 「三つの輪」として協働し交流機会を拡大
- 定住及び移住推進事業の案内窓口設置
- 子育て支援として、子育て交流コーナー、一時預かりの機能、授乳室等の整備
- 外国人案内の質的向上、SNSの活用、風景街道沿線観光地の情報提供、近傍から遠方と幅広い区間の情報提供、由布市ツーリストインフォメーションセンターとの連携

道の駅「奄美大島住用」(鹿児島県奄美市) 企画概要 <既設>

H30重点

- 奄美大島インバウンド観光拠点の創生 ～外国人観光客が安心して訪れる「道の駅」としての機能拡充～
- 「奄美大島唯一の道の駅」、奄美大島の観光情報・道路情報等の広域的な情報・更なるサービス向上
 - 奄美大島の「国立公園化・世界自然遺産登録」を目指し、増加する外国人観光客対応への機能拡充

<地方創生拠点としての機能> ゲートウェイ型

インバウンド観光 外国人観光客への安心な案内提供

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
奄美大島住用	鹿児島県	奄美市	国道58号	既設	平成12年	一体型



豪華客船の寄港による外国人観光客
(道の駅はオプションツアーの定番コース)



国立公園
マングローブ原生林



サンゴの石垣
(瀬戸内町)



特別天然記念物
アマミノクロウサギ



マングローブ原生林
大好評のカヌーツーリング



黒糖焼酎は奄美だけの特産品
多くの皆様に愛飲されています



マングローブ原生林

「道の駅」
奄美大島住用

奄美大島唯一の「道の駅」国道58号の中間
拠点として、地域のゲートウェイとして機能

※平成30年4月～10月末
<提案の先駆性・ポイント>

- 奄美群島国立公園特別保護地区であるマングローブ原生林等の貴重な地域資源を活用した自然回帰型の道の駅であり、「世界自然遺産登録」を目指している。
- 奄美大島への大型観光船寄港の増加や、国立公園化、世界自然遺産登録を控え、今後も外国人観光客の大幅な増加が予想され、遺産効果を生かした満足度の向上に努め、着地型観光や観光案内等への外国語対応・免税店の併設・外国発行クレジットカード対応等の機能拡充を行い、インバウンド観光のさらなるサービス向上を図る。

<実施内容>

- ODMO候補法人と連携し体験プログラムの発掘とガイドの育成
- 世界自然遺産センターと併設した整備等により、インバウンド促進の観光拠点化
- 外国語対応の強化(JNTOカテゴリーⅡ認定、外国語対応スタッフの雇用、特例通訳案内士の育成、多言語案内表示の設置)
- 免税店の併設・外国発行クレジットカード電子決済対応
- 沖縄では絶命したリュウキュウアユの人工ふ化や、河川での産卵床の造成・天然リュウキュウアユの観察会の開催

<参考>平成30年度「重点道の駅」公募概要

公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

公募期間と選定の流れ

○平成30年10月5日(金)～10月25日(木)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

○「重点道の駅」は全国で15箇所、
「重点道の駅候補」は全国で14箇所を選定

その他

○計画的な企画検討を促進する観点から、今後は毎年、公募を実施することを想定

支援内容

<ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国土交通省が支援

<ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・新たな観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
 - ・風景街道・道守との連携
 - ・高速道路との連携
 - ・子育て応援